

2025. 9. 18

不正検知プラットフォーム「Detecker」の新機能を追加 ～法人インターネットバンキングの不正利用モニタリングを開始～

静岡銀行（頭取 八木 稔）では、複雑化・巧妙化するインターネットバンキングにおける不正取引の対策強化を図るため、このたび、株式会社 ACSiON（本社：東京都千代田区、代表取締役：安田 貴紀／瀧下 孝明）が提供する不正検知プラットフォーム「Detecker（ディテッカー）」において、新たに法人インターネットバンキングのモニタリング機能を共同開発し、運用を開始しましたので、その概要をご案内します。

1. 運用開始日 9月16日（火）

2. 背景、目的など

- 昨今、SNS を悪用した投資・ロマンス詐欺の急増や、法人口座を悪用した事案の発生等が顕著となり、金融庁および警察庁は、2024 年 8 月に預金を取り扱うすべての預金取扱金融機関に対し「法人口座を含む預貯金口座の不正利用等防止に向けた対策の一層の強化について」を要請しています。とくに、多額の資金移動が可能な法人インターネットバンキングの不正利用は喫緊の課題とされており、対策強化が強く求められています。
- こうした状況を踏まえ、静岡銀行と ACSiON では、2023 年に共同開発した個人インターネットバンク取引を対象とする不正検知プラットフォーム「Detecker」上に、新たに法人インターネットバンキングにおける検知機能を追加し、運用を開始しました。
- 「Detecker」は、これまでも不審な個人口座取引の検知において高い効果を得られており、他の金融機関での利用も広がっています。
今後は、個人取引で蓄積した不正行動のデータと検知技術を法人取引での検知に応用することで、より広範囲かつ精度の高い不正利用防止の実現につなげ、金融犯罪の防止に努めてまいります。

3. 不正取引検知の概要

- 口座が売却された後、犯人によるインターネットバンキングを使用する際の操作や環境の変化を迅速に検知し、不正口座利用を停止します。

